

① 教育理念

自由と愛

キラキラと輝く子どもの瞳 あふれる元気

日本の未来と世界の元気を築いていこう

子どもたちと共に

② 本校の目的・社会的使命

・本校の社会的使命は、子どもに関する「実学」を学ぶところ。実学の中でも子どもを相手にする保育・教育こそが、今一番力を注がねばならない分野である。

・どのような保育士に育ってほしいか・・・一番大事なことは、子どもに寄り添う姿勢が必要とされる。その基本は、どんな子どもであろうとも受け容れる「しなやかさ」である。

③ 本校の職業教育の特色

・「プロジェクト保育」・・・プロジェクト保育は、オランダ生まれの子どもの主体的発想を生かす保育のメソッド（方法）である。子どもの発想を生かした楽しい課題に取り組む中で、様々な発見が次の課題を産んでいく。文科省が2020年から導入したアクティブ・ラーニングに先立つものである。

・「器を育てる」・・・少人数教育の中で学生自身が己の器を育てる。個性豊かな器を育てるために、「造形表現」や「音楽表現」、「生活と創造」、「声を歌に」、などの自己表現の授業、子どもとの楽しい遊びができるように「自然と外遊び」や土や野菜に触れる「楽農保育」や「陶芸」、さらには魂の問題を考える「ソウルタイム」などが設けられている。

④ 学校運営に関して

・2019年度 神戸こども総合専門学院 校務分掌

学院長 田中英雄 学院長補佐 南 悟

教務（科目内容、授業日程、定期試験、学校行事、実習等に関すること）

・・長谷川香織 大濱祐子

実習担当・・ 大垣淑敏 北田美智子 大濱祐子

学生（学生の生活、就職支援、その他相談等に関すること）

・・南 悟

就職支援担当・・ 大田敬三 北田美智子

会計（講師料、授業教材費等に関すること）

・・田中英雄 大濱祐子

広報宣伝（ホームページ、広告、学生募集等に関すること）

・・大田敬三 長谷川香織

設備（校舎、消防設備、車両管理等に関すること）

・・大田敬三 スクールバス運転 川崎辰彦

事務局（その他事務、事務処理等に関すること）

・・大田敬三 大濱祐子 山添裕子

委託訓練事業（訓練事業全般に関すること）

・・田中英雄 事務担当 大田敬三

・職員会議・・・職員全員参加で毎週一回定例開催し、学校運営や学生指導・教科指導等について協議。その他随時。

⑤ 教育活動に関する情報公開

SNS 学校ホームページと学校ブログの公開

⑥ 情報システム化による業務の効率化

職員全員の机上パソコンの「共有フォルダ」で情報を共有

⑦ 教育活動に関して

・年間カリキュラム



「神戸こども」の一週間

(カリキュラムの紹介を兼ねて。実際の時間割ではありません。)

<保育士コース>

月	火	水	木	金	
9:00 ～ 10:30	造形表現 身の回りにある素材を 自由な発想で形にする	乳児保育 「赤ちゃんは可愛い」だけではダメ、 牛の卵まじりにしっかり 作り添いましょ	子どもとおもちゃ 学内の豊富なおもちゃで、 子どもの発達段階にあった 遊びを工夫します	社会福祉 人は一人では生きて行けない みんなが共に生きられる 社会のあり方を学びます	言葉 まずは「絵本」を読み！ 言葉を豊かにしましょう
10:40 ～ 12:10	実習指導 より充実した 実習が出来るための学び すっごく大事	環境 自然環境、服飾環境だけでなく 人の配置も環境 子どもにより良い環境とは？	児童家庭福祉 「すべての子どもが等しく」 社会の様々な取り組みや 実践を概観します	音楽表現 ピアノ・・・練習、練習 未経験者でも 弾けるようになります	障がい児保育 「ノーマライゼーション インクルージョン」という 言葉を知っていますか
昼休み					
13:00 ～ 14:30	声を歌に 声をだす、歌を歌う とにかく楽しい、元気になる	楽農保育 畑を耕し、野菜を作ります 生きるための原点です	子どもの食と栄養 調理実習を楽しみながら、 「食育」について学びます	こころからだ 「自分を知る」とは どういうことだろう	国語 みずからの言葉や表現に対する 考え方を吟味しながら書くことや 話すこの方法を身につけます
14:40 ～ 16:10	ソウルタイムス 「自由と愛」の ありようを考える場として	子どもの保健1 保育士は子どもの病気や怪我の 知識と対応は必須です	災害福祉 学級独自の授業、 とっても大切で、 普段は忘れられてる内容		

必修科目 保育原理、教育原理、子ども家庭福祉、社会福祉、子ども家庭支援論、社会的養護、保育者論、保育の心理学、こころからだ、子どもの理解と援助、子どもの保健、子どもの食と栄養、保育の計画と評価、保育内容総論、音楽表現、身体表現、造形表現、乳児保育、障がい児保育 など

教養科目 英語、体育、キリスト教、国語、数学、歴史 など

実習「保育実習1」 保育園での見学実習（1日）から始まり、保育園、乳児園、知的障がい施設などの社会福祉施設での実習が2年間で8週間あります。保育園や社会福祉施設での現場実習は自分の適性を見つけ、将来の仕事選びの指針になります。

<保育士・幼稚園教諭コース>

保育士コース修得科目に加え、幼稚園教諭としての修得科目 教職論、教育原理、教育心理学、教育課程論、教育方法論、及び指導法など

実習「教育実習」 幼稚園、幼保連携型認定こども園での実習が2年間で4週間あります。

・キャリア教育・・・2年次生に対して週一コマ（90分×28回）の「就職ガイダンス」を設け、学生個々の特性と希望を優先した懇切丁寧な進路指導を行っている。担当は「キャリアコンサルティング」の資格保有の職員。現場訪問、インターンシップも活用

・実践的な職業教育の実施・・・保育園、認定こども園、児童養護施設、障がい児者福祉施設等での実習を年間20日、2年間で40日間実施している。

・カウンセリングマインドを持って学生に接している・・・幅広い年齢構成、多様な人生経験を持つ学生が多いことから、学生の自主性を重んじ、一人ひとりの個性を尊重しながら、学生の困難や葛藤に寄り添う対応に努めている。

・臨床心理士の資格を持つスクールカウンセラー・・・2名配置して学生が気軽に相談できるよう面談している。その結果、全員が利用している。

・優れた教職員を配置・・・保育園経営47年でキリスト教会牧師の学院長をはじめと

して、複数の保育園・認定こども園長、プロジェクト保育の実践家、国連平和コンサートのピアニストで海外交流豊かな音楽家、阪神大震災を契機に災害被災者への現金給付の道を開いた「災害被災者支援法」（1998 年）の成立に尽力した社会福祉の専門家、同じく阪神大震災後のボランティア活動を通して国内外の被災地支援を続ける NGO 代表、神戸で著名な元産科婦人科病院長、著書もある新進気鋭の経済学博士、おもちゃライブラリー子どもと育ち総合研究所長、ドイツブレーメンと交流がある「ドングリネット神戸」代表の造形作家、兵庫県農業改良普及員・技術指導員、童心社絵本テキスト大賞優秀作受賞で看護師資格の絵本作家、幼保免許と調理師免許保有の現場経験豊かな講師、若手の陶芸作家、教科書『乳児保育』の共著者、岩波書店など複数の著作がある元定時制国語教師、等々多彩である。

・職員の能力開発、資質向上のための研修・・・月に一回程度、多様な教材、講師のもとでの研修を重ねている。シュタイナー教育、内田樹著『日本辺境論』より難読症について、食品の安全「ゲノム編集」について、遺伝子編集植物の問題点、現場の保育者、社会福祉施設職員、精神障がい者の生き方に学ぶ、ことなど。

⑧ 学修成果について

・就職率の向上・・・例年 80～90%程度であったが、昨年度、今年度は 100%である。
・退学率の低減・・・少人数教育のため、退学率は極めて僅少である。皆無の年もある。
・卒業生・在校生の社会的な活躍・・・卒業生全員の活躍と動向は把握できており、在校生についても同様である。

⑨ 学生支援

・進路・就職に関する支援体制・・・「キャリアコンサルティング」の資格保有の職員を中心に担任、常勤職員があたっている。
・学生相談に関する体制、学生に対する経済的な支援体制、学生の健康管理を担う体制、学生の実生活環境への支援体制・・・学生部職員、担任、学校カウンセラー、職員などが精力的に取り組んでいる。

⑩ 教育環境

・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されている。
・防災に対する体制も整備されている。

⑪ 学生の受け入れ募集

- ・高等学校等、接続機関に対する情報提供・・・県内の公私立高校約150校に入学案内を送付。学校訪問、進学相談会は年間約20校程度実施。学校ホームページの活用、電柱広告も実施。
- ・保育士免許、幼稚園免許の両免が取得可能な制度がスタート。(豊岡短期大学通信教育部こども学科学習サポート校)
- ・学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報も正確に伝えている。
- ・学生納付金も妥当である。

⑫ 財務状況

- ・中長期的に学院の財務状況は安定している。
- ・予算・収支計画は有効かつ妥当である。
- ・財務についての会計監査は適正に行われている。
- ・財務情報公開は学院ホームページで公開している。

⑬ 法令等の遵守

- ・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされている。
- ・個人情報に関して、その保護のために対策がとられている。
- ・自己評価の実施と問題点の改善を行い、自己評価結果を公開している。

⑭ 社会貢献・地域貢献

- ・障がい者施設や高齢者施設、保育園との交流、町内会、地域夏祭り、地域芸術祭への参加と交流、災害被災地での支援活動等を行っている。

⑮ 国際交流

- ・留学生の受け入れは可能である。
- ・ベトナム語、韓国語の講座を開設して学生全員が履修している。(年間15コマ)